



受賞者らで記念撮影

## オオバラ3社を表彰

日測協中部、公共  
測量品質管理優秀賞

日本測量協会（日測協）中部支部（上村和彦支部長）は、第20回公共測量品質管理優秀賞の表彰式を名古屋市中区のアイリス愛知で開いた。基準点測量でオオバ名古屋支店、ナガサクコン

サルタント、若鈴の3社が優秀賞を受賞し、廣田三成日測協理事・測量技術センター所長から記念の盾が贈られた。

この表彰制度は、2005年4月に施行された公共工事の品質確保に関する法律（公共工事品質確保促進法）を契機に設立された。

中部支部では、昨年度に測量成果の検定を受検した企業は基準点139社。これらを評価し3社を選定した。ナガサクコンサルタントと若鈴は初受賞、オオバ名古屋支店は2回目。

廣田所長は「公共事業を行う上で測量は最初の作業であり、品質の良しあしは事業に大きく影響する。受賞を契機にさらなる品質管理とスキルアップに努めてほしい」とあいさつした。

式典後の懇談で弓場昌治オオバ名古屋支店長は「今後も正確で速やかな測量成果を残したい」、岡野哲治ナガサクコンサルタント専務は「機器や技術の高度化だけでなく、きめ細かい測量に取り組みたい」、木村幸司測量情報部長は「ベテラン中心で取り組んだが、若手でも受賞できるよう頑張りたい」と話した。